

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	乳房温存放射線療法後の肋骨骨折に対する検討
研究期間	西暦 2018 年 5 月 1 日 ～2023 年 1 月 31 日
研究の対象	2009 年 1 月～2013 年 3 月に当院乳房温存後放射線治療を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：肋骨骨折の有無、年齢、化学療法の有無、内分泌療法の有無、BMI、放射線治療記録） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	乳房温存放射線治療後では肋骨骨折の発症が増えるといわれています。放射線治療による骨粗鬆症もありますが、内分泌療法や化学療法（早期閉経を来す）の影響もあるといわれています。今回は治療後の患者さんの中でどの程度の方が肋骨骨折となるのか、またどのような治療を受けている方で骨折が多いかを検討していきます。
研究の方法	<p>乳房温存術後に放射線治療を行った方が対象になります。</p> <p>経過観察期間中に肋骨の骨折の有無を調査します。放射線治療記録や年齢、化学療法の有無、内分泌療法の有無、BMIについても調べます。</p> <p>診療録や画像所見を用いますので、対象患者さんへの負担はありません。治療方針が変更になることもありません。</p> <p>個人が特定できる情報は削除して用いますので、個人情報漏洩することはありません。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>研究責任者 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1 旭川医科大学放射線科 0166-68-2572 中島 香織</p> <p>研究代表者： 旭川医科大学放射線科 中島 香織</p>